

野村技工株式会社

独自の過熱水蒸気
発生装置を幅広く展開海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

野村技工が開発した過熱水蒸気発生装置

業務
内容
多様な納入先に加えて
用途開発にも注力

独自開発の過熱蒸気発生装置「GENESIS（ジェネシス）」の製造販売が主業務。ジェネシスで生み出した過熱蒸気を使う応用装置の製造も手がける。ジェネシスの納入先は公的研究機関や自動車関連、光学機器、繊維、食品など多岐にわたる業界に活用される。過熱蒸気は熱処理や乾燥、洗浄、炭化、廃棄物の容積を減らす減容など用途もさまざま。野村政明取締役によると「当社の過熱蒸気発生技術は従来とは一線を期す能力を保有する大容量発生のため実用化に直結している。食品関連に留まらず工業関連などの機器への組込も可能」と今後新たな用途に展開することも期待できる。

強み
小型で過熱蒸気発生
量が多いジェネシス

ジェネシスは、30cm足らずの長さで直径10cm程度の茶筒状の部分に100℃程度の飽和蒸気を流すと数分で600℃の過熱蒸気ができあがる。ヒーターなどの補助的な熱源は一切不要で、1時間あたりの電気代は約200円程度。最大の持味は過熱蒸気発生流量。小型ながら電気出力20kwタイプで1時間あたり最大120kgの過熱蒸気を生み出す。通常なら容積2〜3倍規模の装置が必要になるという。さらに、電磁誘導加熱方式の特性から温度の応答性に優れ±1℃の温度制御が可能である。

自製
超え
従来の熱交換器の枠を
超越した新たな熱交換器

ジェネシスのかなめは熱交換器。すで

に装置自体の特許は、日本はもちろん、欧米、アジアなど10カ国で取得済み。そのうえ、「世界のどこにも真似がでない」と野村正己社長は胸を張る。野村社長は各種装置の製造販売を続けてきたノウハウを生かしてジェネシスの開発に着手、試行錯誤を繰り返して開発に成功した。「どれだけ表面積を広げるか、といった常識からアプローチしなかったことで、偶然できあがった」と野村社長は謙虚だが、とにかくできあがった製品は常識を覆す性能を持っていた。そのため「本当にそんな性能があるのか？」と疑問に思う人も多く、実際の装置の能力を確認し驚かれるという。

今後の
展望
過熱蒸気熱源を産業界に
広く普及させることを目指す

ジェネシスの課題は普及である。単品納入では、幅広い業種に納入実績を持つ。だが、量産装置への採用実績が乏しい。そのため、各業界のメーカーへの提案活動のほか、ホームページ上に技術の詳細を公開。野村社長は「示した性能を疑うなら実機でテストしてほしい」とし、お問い合わせがあれば本社工場での評価テストを勧めている。性能を裏付ける詳細なデータ分析も大学と協力して進め、ある程度の裏付けができているという。構造がシンプルなため故障リスクは少ないが、海外での採用などを意識し、メンテナンス体制なども整えていきたいとしている。



本社屋内ではユーザーが実際にテストもできる

COMPANY PROFILE

野村技工株式会社

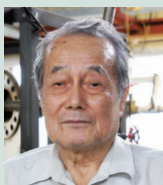
大阪 27

当社の
歴史

創業以来、製缶溶接加工や業務用設備機械・周辺機器の改良、製作などを手がけながら、各分野の顧客ニーズに合った特注製品の開発などの依頼を受けてきました。10数年前からはノウハウを生かして小型で蒸気発生量の多い過熱水蒸気装置を開発。幅広い業種への普及に向けて提案活動を進めています。

ものづくりの総合診療科としてさまざまな技術を吸収し顧客のいかなる要望にも臨機応変に対応します。

代表取締役 野村 正己さん



■主な事業内容

産業用設備機械の製造・販売

■主な取引先（納入先）

自動車関連メーカー、光学機器メーカー、繊維メーカー、セラミックメーカー、薬品メーカー、鉛筆メーカー、たばこメーカー、木材メーカー、公共の研究機関、食品メーカー

住所／〒577-0835 東大阪市柏田西 1-14-15
TEL／06-6722-0967
FAX／06-6736-1247
創業／昭和36年4月
設立／平成17年6月
資本金／1,000万円
従業員／5名

<http://www.nomura-genesis.com/>